

日根野中だより

令和5年4月14日発行 日根野中学校長 武田 博之

時程の変更2年目に期待…

・・・伝統は日々の改革の上に守られていくものだと考えています・・・

昨年度より一年間実施しました時程等の変更について・・・全校生徒・職員で行う全校清掃についてですが、スタート時点から前年度からの様子に違和感なく対応してくれました。その結果、校庭内や校舎内も見違えるようにきれいな状態が保たれ、一日一日気持ちよく生活することが出来ました。また、清掃後に行われる各クラスの終学活においても落ち着いた雰囲気の中で行われるようになり、落ち着いた状態で下校する生徒が増えたように感じます。その落ち着いた状態が、家庭においての子どもたちの心の状態につながり、安定した生活が送れるようになった結果、人間としての成長にもつながるものだと信じてこれからも地道にやっていきたいと感じました。ただ、もう一つ、ご家庭の負担を考えた上で変更した始業時間…はじめの頃はゆとりをもって登校できていたのですが、その時間に慣れてくると余計に遅くなり、昨年度の最後には正直言って残念な登校の様子が続きました。今年度も昨年度通りの始業時間に変更はありませんが、一日を充実した時間を過ごすためにも、朝のゆとりを生み出す時間に登校してください。これについてはご家庭の力が大きく影響します。学校の準備・迎え入れについては十分な対応を考えています。ご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

4/24～「家庭訪問」について…

この3年間十分な形で実施できなかった家庭訪問を、今年度は従来通りの形で実施したいと考えています。先日、家庭訪問のお知らせとその方法についてのプリントを配布させていただきました。ただし、今の状況から、家庭訪問は難しいと判断された場合は昨年度並みのポスティング（家庭確認訪問）とさせていただきます。希望調査用紙にご記入の上、担任へ提出願います。また例年通り、**家庭訪問期間の学校給食は実施されません**。ご負担をおかけすることにはなりますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～～～3年生の修学旅行について～～～

この3年間、コロナウイルス感染症への対応から、修学旅行が中止や延期を余儀なくされてきました。ただ昨年度から、感染状況が心配な状況ではありましたが、予定通り6月に沖縄へ修学旅行の実施をしました。今年度も昨年度通りの計画で準備中です。

今、世界に目を向ければ大変悲惨な戦争状態にある地域があります。またその実情が毎日のようにテレビから流れてきます。そんな中、今こそ「反戦・平和学習」に力を入れなければならないと強く感じます。日本で唯一地上戦を経験し、多くの尊い命が奪われた史実を肌で感じる事が出来る沖縄で、平和について深く掘り下げ学習することは、子どもたちの「心の成長」に大変、大きな影響があるものと考えています。それに向けての取り組み状況や様子は、随時お知らせしていきます。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

熊本大地震から今日で7年…

つらく苦しい中で生活してきた今…

今だからこそ「命」「心」について、深く考えたいものですね…

しあわせは
あるものではなく
感じるもの
その感性を育てたい

2016年（平成28年）の熊本大地震から今日で7年の月日が経ちました。本震の2日後に起きた余震の方が大きく、本震がおさまりに帰宅した自宅で強い余震により被災された方が大勢出ってしまった大変な地震災害でした。熊本城天守閣の崩れ落ちそうな映像…大きく深くえぐられるように削り落ちた山肌…九州南部は始良（あいら）大噴火の歴史があるだけに大変心配したのですが、現在は順調に復興されている様子が伝わり少し安心しています。

この三年間、この感染症への心配で息が詰まりそうな生活を余儀なくされている中だからこそ、考えるべきことが多くあるように感じます。当たり前であったことが、決して当たり前ではない…。その見えないところでいろんな方々の力添えがあったからこそ、当たり前のように感じていただけ…。感謝する心…素直な気持ちで「ありがとう！」と言える、人間として当たり前の力を身に着けること…。今、大切な「時」だと感じます。是非とも「命」について…感謝する「心」について…など、人として将来にわたって備えるべき「力」や「考え」をご家庭で話し合われてみてはどうでしょうか。今の生活はどんな過去の礎の上に成立しているのか…？これらを心から理解することこそ、自らの力で幸せを導く心の力につながっていくものだと信じています…。このような機会に是非ともお願いしたいと考えています。